

## 2018年度目録委員会記録 No.7

### 第7回委員会

日時：2018年12月15日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、野美山、平田、村上（一）、村上（遥）、横山  
<事務局>三浦

#### [配布資料]

1. 目録委員会規程改正案（2ページ-A4、事務局）
2. NCR2018 広告（『図書館雑誌』2019年1月号掲載）案（1ページ-A4、事務局）
3. 刊行（とその後）に向けてのメモ（2018.12.15）（8ページ-A4、渡邊委員長）
4. 「予備版」以降の変更事項について（3ページ-A4、渡邊委員長）
5. 『日本目録規則 2018年版』（本版）公開について（案）（3ページ-A4、渡邊委員長）
6. 本版誤り（2018.12.13 現在）（1ページ-A4、渡邊委員長）
7. 2018年度第6回目録委員会記録（案）（5ページ-A4）

#### [第6回委員会（2018年10月27日（土））以降の主な動き]

1. NCR2018 冊子体の関係事項について
  - ・ 11月5日（月）までに冊子体の表紙の色、委員会の英語名称、標題紙裏の書誌データの記載を委員会内で決定した。
  - ・ この週に、10月10日（水）に開始した再校の校正を終了し、印刷所に返却した。
  - ・ 11月15日（木）～19日（月）まで、念校（第3校）の校正作業を行った。11月17日（土）には、委員長および一部の委員が JLA 集合し作業を行った。
  - ・ 12月5日（水）事務局により冊子体の校了、下版。（この間、事務局でさらに修正点を発見。）
2. NCR2018 PDF 版の関係事項について
  - ・ 11月5日（月）頃～12月11日（火）まで、PDF 版の本文および索引の内容面における確認作業を行った。
  - ・ この間、PDF 版のカバーファイルの検討や、掲載ページの準備を進めた。
3. 委員会運営の関係事項について
  - ・ 12月3日（月）委員長が「2019年度事業計画及び予算調書」（案）を事務局に提出した。

#### [報告事項ほか]

1. 議事録の確認  
2018年度第6回の記録案（資料7）を確認した。
2. NCR2018 に関する研修講師の派遣要請等について

- ・富山県・富山県図書館協会の共催による図書館職員研修会への講師派遣の要請があった。  
2月28日（木）開催。NCR2018の特徴、使用法等に係る内容。木下委員が担当。

[検討事項]

1. 目録委員会規程改正について

資料1に基づき検討し、異議なく了承された。

- ・「委員会通則」改正に伴い、各委員会の規程を改正することとなった。実質的な変更はないと言える。事務局から提示された主な改正点は次のとおり。12月21日施行予定。
  - 人数について、「委員長及び委員概ね15名以内」から「16名以内」と改める。
  - 小委員会についての規定を削除する（「委員会通則」に盛り込まれるため）。

2. NCR2018 冊子体の関係事項について

資料2、3に基づき、次のとおり確認・検討した。

- ・ 現在印刷・製本中であり、12月25日（火）納品予定。
- ・ 『図書館雑誌』2019年1月号に掲載する広告案（紹介文）を確認した。
- ・ 献本の対象者の範囲や配送方法を検討した。

3. NCR2018 PDF版の関係事項について

資料3に基づき、次のとおり確認・検討した。

- ・ 1月7日（月）公開予定。掲載ページは作成済。
- ・ 各条文等のファイルについて、分担して確認・修正した原稿（MS Word）は全て揃い、それぞれにカバーページを付しPDF化する段階に至っていることを確認した。
- ・ 索引については、条文ファイル掲載部分の下に掲載する。
- ・ 「予備版」は公開を継続するが、最新版でないことを明記し、誤認防止のために圧縮ファイルで提供する方向とする。

4. NCR2018 刊行・公開に関する諸事項について

資料3～6に基づき、次のとおり確認・検討した。

- ・ 「日本目録規則（NCR）2018年版関連情報」のページに、（予備版に対する）本版の位置づけ等を説明した『日本目録規則2018年版』刊行・公開について」という文書を12月25日付で掲載する。本文書案（資料5）の内容を引き続き確認する。なお、当該文書中に記載しているが、今回刊行の版を「本版」と称するのは、諸文書において予備版との関係に言及する際のみであることを確認した。
- ・ 「「予備版」以降の変更事項について」という文書を掲載し、予備版以降の変更事項を明らかにする。重要な変更点の説明を本文に、個別的な問題を別表に掲載する。本文書案（資料4）について、各委員が12月20日（木）までに確認し加筆修正する。
- ・ 校了後もしくは刊行後に発見された誤りについては、正誤表として、ウェブ上で公開する必要がある。冊子体については、可能であれば増刷時に反映し、PDF版も同じく修正したい。PDF版では、カバーページに修正履歴を掲載する。

5. NCR2018のLOD対応について

資料3に基づき、次のとおり検討した。

- エレメント名や語彙について、CSV等でもよいのでデータ公開してほしいという要望がある。この対応を委員会の今年度最後の取組とし、2019年3月公開を目指す。
  - 公開対象の候補は次のとおり。
    - エレメントの全て（エレメントと規定している「〇〇の詳細」を含む方向で検討）
    - 語彙のリストの用語の全て（刊行頻度の用語等、#B.1で定義していない語を含む）
    - 関連指示子の全て（#Cに掲載）
    - 実体の全て
    - その他#D収録の用語をどのようにするかは要検討
- ※ 「選集」のように表に掲載されていない定型的総合タイトルの語等は対象外。
- データ項目について、特にIDの生成について議論があった。当委員会のLOD対応とはそのための基礎データ提供であるとする観点から、IDの生成までしなくてもよいのではないかという考え方が示された一方で、やはり可能な限りIDを付して公開すべきであるという意見があった。実現可能か判断するためにも、IDの付与方法・体系等の要件について情報収集を進める。
  - RDA Registryは現在ベータ版のような性格であることから、そのIDへのリンクは行わない方が無難と思われる。
  - これから次のことに着手する。
    - LODの望ましい方式の情報収集
    - 入力ファイルの書式の作成
    - 各委員の作業割当

## 6. 来期（2019-2020年度）の委員会の体制等について

- 今後の活動は、次のことを中心に想定する。
  - NCR2018の維持管理に係る活動（ISBD、MARC 21とのマッピングやデータ事例の作成・公開を含む。）
  - NCR2018の普及活動
  - 関係する研究活動。特にIFLA LRMおよびRDAベータ版の理解（成果物を発表しないまでもNCR改訂に活かす必要がある。）
  - 次期「目録の作成と提供に関する調査」についての検討（前回は2010実施。次期の実施時期はNCR2018の普及状況を考慮する必要がある。）
- 来期の委員については、次のように考えたい。
  - 特に研究者を増強したい（数名程度）。
  - 機関派遣の性格の強いところは、継続していただきたい。厳しい状況は認識しているが、NIIにも参加を復活していただきたく要請を続けたい。
  - 公共図書館についても、参加（復活）をお願いしたい。

次回以降の委員会の予定

1月26日（土）、2月23日（土）

以上